

会 議 録

1 会議名	第6回富士見市産業振興審議会
2 開催日時	平成26年12月2日（火） 午後2時00分から午後3時15分
3 出席者名 （順不同・敬称略）	猪瀬典夫会長、新井幸雄副会長、石川清委員、関知枝委員、羽石隆委員、星野光弘委員、柳田政男委員、吉田英穂委員、時田裕委員、江原吉信委員、横田昌則委員、渋谷貞男委員、小川誠委員、寺沢靖委員
4 傍聴者	0名
5 次第	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 審議事項</p> <p style="padding-left: 20px;">①第2次富士見市商業活性化ビジョン（案）について</p> <p style="padding-left: 20px;">②その他</p> <p>4 閉会</p>
6 議事内容	<p>3 審議事項</p> <p>①第2次富士見市商業活性化ビジョン（案）について</p> <p>平成24年度から25年度にかけて実施した、消費者・商業者を対象としたアンケートや、地域別商業者懇談会等の調査結果を基に、第2次富士見市商業活性化ビジョン（検討素案）を作成した。配布資料に基づき、事務局より内容を説明した。</p> <p>・富士見市産業振興審議会設置条例の規程により、会長が議長となり議事を進行する。</p> <p><b>【質疑応答】</b></p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種調査結果から、前回のビジョン策定時と比べて市内商業は厳しい環境に置かれているのが分かる。</li> <li>・商業活性化のための基本方針に基づくアクションプランにおいては、産業観光の視点を取り入れた一店逸品ツアー事業や、地域版ふじみマーケットの開催、創業支援関連事業など、全部で25のアクションプランが提案されている。</li> <li>・委員の皆さんには、市民の立場からのご意見もいただきたい。また、商店会関係者においては、商業者地域別懇談会での議論の結果まとめられたアクションプランについて、率直なご意見をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域性等の事情から商店会毎に抱えている課題は異なるため、活性化に向けて画一的な手法は取りづらい。</li> <li>・当商店会では、地域外に消費が流出する傾向にあるため、イベント等を実施して人の流れを呼び戻し、消費の流出を防ぐ努力をしている。駅前型の商店会と違い、地域密着型の商店会であるため、地域の顧客を離さない努力をしている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年4月の消費税増税に伴い、売り上げに影響が出ている。そのため、地域消費の喚起を目的としたプレミアム商品券事業は一定の効果があり助かった。</li> <li>・商業の活性化については、個店だけでなく商店会も含めた地域全体で議論していかなければならないものだと思う。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々のアクションプランについては、地域性を考慮した上で、それぞれどこの商店会でやっていくべきものなのか、もしくは実現の可能性があるのかということまではビジョンにおいて言及されていないが、事務局の考えはどうか？</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランについては、商店会毎または地域別の計画という形でまとめるのが理想だが、今回のビジョンにおいては、商業者から提案された意見を集約し、全市的な課題として整理した形なので、アクションプランに取り組む際は、事業の実施主体が地域の実情を考慮しながらプランを変化・修正して対応いただきたい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョン策定後は、アクションプランをどう具体化していくのかが課題となる。事業の推進には母体となる組織が必要だが、商店会や商工会、商店会連合会等が積極的に行動し、それを行政が支援するという形になるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のビジョンでは、商業が抱える課題の抽出とその解決策をまとめさせていただいた。行政の関わり方については今後の検討課題だが、先に制定された産業振興条例の理念に基づけば、各実施主体が商業活性化に向けて自主的に取り組んでいくことが重要であると考えています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業者だけでなく、農業者や工業者、市民や大学等とも連携していくのが重要だと思う。商業活性化ビジョンは各産業の中で商業に特化している内容だが、これを各主体が連携しながら推進していくことで地域経済が活性化し、他の産業にも波及効果が見込める。そのためには、消費者である市民の方々もビジョンを理解した上で、活性化にむけて自発的に協力していただきたい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の皆さんが所属している組織の中で、アクションプランの中でも来年度はこれを頑張っていきたいというものはありますか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の施策においては、実施計画3カ年の中で、プレミアム商品券事業や空き店舗活用に関する事業について支援を検討している。実際に予算化された場合は、積極的に活用していただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域版のふじみマーケットはどのような形での開催を考えているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、市内の地域密着型商店会において、近隣の農家の方に協力してもらい、お店の軒先で野菜販売を行ったところ、地域の住民から大変評判が良かったという事例があった。空き店舗を活用するなどして、気軽に地域の商業者や農業者、住民が相互に交流し、連携できるような拠点という意味でのマーケットという考え方もある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型商業施設が開業すれば、広域から多くの来客が見込めるため富士見市の商業力は高まると思うが、市内に居住する人がすべて大型店で買い物ができる訳ではない。</li> <li>・買い物が不自由な地域においては、例えば、ご年配の方が買い物したい場合、農産物等の販売と併せて商店会の出張販売等を検討してもよいと思う。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントを行う際のPR方策や、公共施設を活用した場所の確保などは行政が支援できる分野だと思う。農商工の連携については、行政の立場から支援策の検討を引き続き進めていただきたい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、何かご意見はありますか。特に無いようならば、今後のビジョン策定に向けてのスケジュールについて事務局より説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活発なご議論ありがとうございました。今後のスケジュールについては、平成27年1月初旬から2月にかけてパブリックコメントを実施し、そこで提出された意見を反映させ、2月上旬にビジョンに関する最終的な審議会を開催したいと考えています。そこで最終的な案についてご審議いただき、市長への答申という形を取りたいと考えています。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もし何かご意見がある方は、パブリックコメント実施前の12月中に事務局に意見を提出してください。それでは、議事の3-②その他に入りますが、審議会全体について何かご意見はありますか。</li> <li>・特に無いようなので、審議事項をこれで終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</li> </ul>

